

Headline

今年度も実施！県内地域企業の生産性向上に向け、ロボットに関する各種事業を実施

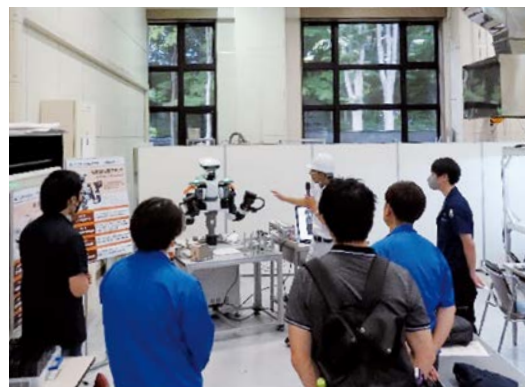
(株)八戸インテリジェントプラザは、県内のものづくり企業の生産性向上の促進、およびロボットの操作技術やシステム構築能力を備えた人財育成のため、昨年度に引き続き、青森県より「ロボット専門人財育成支援業務」を受託し、(地独)青森県産業技術センター八戸工業研究所(以下、八工研)の協力を得ながら下記の事業を行っています。

今後は、実施要領が決まりましたら都度案内してまいりますので、自動化・生産性向上を目指す企業の皆様は是非ご参加ください。

■ ロボット安全特別教育研修会【現在実施中】

ロボットを活用した業務に従事する上で必要となる安全教育等への理解を深めることができる研修会として、労働安全衛生規則第36条に基づき、6月30日(月)～7月4日(金)の期間で実施中です。

- 〈内容〉
- | | |
|----|---|
| 座学 | ■ 産業用ロボットに関する知識、
教示等の作業に関する知識、関係法令
■ 産業用ロボットに関する知識、検査等の作業に関する知識 |
| 実習 | ■ 産業用ロボットの教示等の検査方法、操作方法、
教示等の作業方法 |



昨年度開催の実習の様子

■ 周辺機器展示会・導入相談会【10月実施予定】

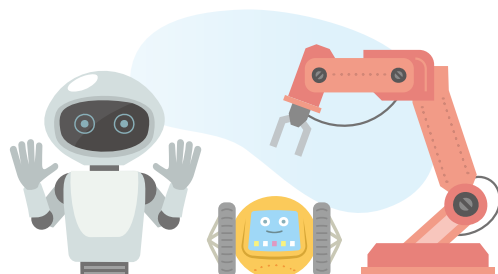
ハンド、PLC、画像処理等、ロボット周辺機器に関する知識の習得のため、機器メーカーを集めた周辺技術を紹介する展示会です。またロボット業界の専門家を招聘し、ロボットの導入に関心があるものの具体的な検討を進められていない企業の相談・指導を行う相談会も実施予定。昨年度は「Hachinohe Robot EXPO」として開催し、全国からロボット関連ソリューションを提供するメーカー等15社が出展。八戸地域を中心に県内各地から約70社220名が来場しました。また八工研の一般公開も併催しました。



昨年度の「Hachinohe Robot EXPO」の様子

■ ロボットSI基礎講座【11月実施予定】

ロボット導入のプロセスと理解する上で必要なシステムインテグレーション(略称: SI)業務の概要を習得する講習を実施予定です。



八戸圏域連携中枢都市圏関連事業

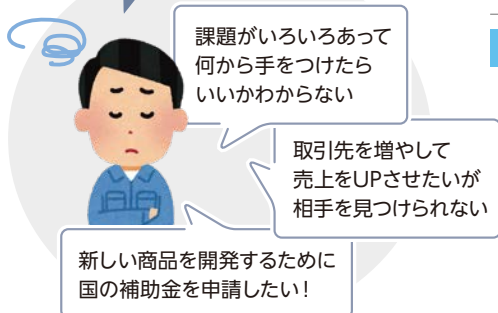
地域事業者 相談希望者募集

無料

地域企業の皆さん
お気軽にご相談ください!

地域の事業者の皆様に対し、コーディネーターが、売上向上、販路拡大、新商品開発、補助金獲得、生産性向上などの課題解決に向けたアドバイスや支援機関・地域企業等とのコーディネートを行います。

こんなお悩みはありませんか？



対象

八戸圏域の企業、組合等 (八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町)

支援の流れ

1. 相談の申し込み

(株)八戸インテリジェントプラザ(受託事業者)若しくは八戸市商工課(商工振興グループ)にご相談ください。

2. コーディネーターが訪問して課題を発掘・整理

地域の事業者に関する知見やネットワークを有するコーディネーターが訪問し事業の状況等について聞き取りしながら、課題を発掘・整理します。

3. 課題解決に向けたコーディネート

整理した課題の解決に向けて、コーディネーターからアドバイスや活用可能な支援施策の情報提供を行うとともに、支援機関・地域企業等とのコーディネートを行います。

コーディネーター紹介



阿部 孝悦

元 (株)八戸インテリジェントプラザ 所長

【専門分野】

施策活用、企業間連携

【資格等】 公害防止管理者、作業環境測定士等技術的な資格ばかりです。JIS工場認定、ISO9000等の申請経験があります(いずれも採択)。

◆古くから「ものづくり補助金」申請に関わってきました。民間企業勤務時はステンレス鋼の加工技術が専門分野でしたが、これに関連して台湾、中国、韓国、オーストラリア、シンガポール、香港、スリランカ等の企業の指導を行なった経験があります。ただし、最初の「ものづくり補助金」の申請は八戸市の家具・建具製造企業でした。



向井 誠仁

(株)コネクトグローバル 代表取締役

【専門分野】

IT経営、DX戦略策定支援、インフラ構築、ITシステム構築

【資格等】 青森県商工会議所連合会経営技術強化支援事業エキスパート、青森県商工会連合会経営技術強化支援事業エキスパート、個人情報保護認証制度「JAPHICマーク」取得コンサルタント

◆DX化やデジタル化への最初の1手を打つためのお手伝いをいたします。



村井 京太

合同会社グローバリーション 代表

【専門分野】

食品衛生・HACCP対策、輸出支援・ブランディング、FDA対策

【資格等】 FSPCA PCQIリードインストラクター、IAVAリードインストラクター、International HACCP Alliance(IHA)認定HACCPリードインストラクター、上級HACCPコーディネーター、一般社団法人貿易アドバイザー協会認定貿易アドバイザー #732(国内約300人)、公益社団法人日本輸入食品推進協会認定輸入食品衛生管理者第191019号、大日本水産会HACCP認定技術顧問(他の会社経由)、その他

◆全国の様々な食品工場を見てきました。特に欧米向け輸出に関わる事業を得意とし、輸出のための貿易実務から食品安全関係規則、販売まで一貫したお手伝いをしています。工場のリフォーム、新工場建設に関わる食品安全へのコンサル、HACCP計画作成に向けたお手伝いを致します。



富沢 知成

富沢特許事務所 所長弁理士

【専門分野】

外国を含む特許・意匠・商標・実用新案の手続、著作権を含む知財全般の相談対応・助言、知財戦略/知財経営の提案・調査、知財分野の契約・交渉文書作成支援、知財価値評価、セミナー・講演・執筆等による知財啓発 など

【資格等】 弁理士

◆知財は生きもの、ナマもの。徹底的な【非公開】、そして【早さと速さ】が生死を分けます。経済・産業社会、否、この社会全体の必修科目である【知財】ルールを、まず知ること、使うこと、そして使いこなすことをご支援します。



箭内 武

(株)YANAI総合研究所 代表取締役

【専門分野】

セル生産方式による工程改善、作業改善、生産性改善、品質改善、生産管理方法の構築、在庫削減

【資格等】 青森県海外取引アドバイザー、内閣府地域活性化伝道師、内閣府クールジャパン地域プロデューサー、おもてなし創生パートナーズ エグゼクティブコンサルタント

◆400社以上の改善実績。あらゆる仕事の生産性を向上させてきました。



八木 清之

八戸まちのコンサル 代表

【専門分野】

現場改善、生産性向上、ものづくり、中小企業診断士

【資格等】 中小企業診断士

◆漠然としたお悩みでも気軽にご相談ください。丁寧に話を伺いながら、課題と一緒に整理し、次のステップと一緒に考えていきます。

一緒に解決策を考えましょう!



お問い合わせ

(株)八戸インテリジェントプラザ 営業課

TEL: 0178-21-2111 FAX: 0178-21-2119(担当:滝沢)

八戸市商工課 商工振興グループ

TEL: 0178-43-9242 FAX: 0178-43-2256



「貸し会議室・ホール・テレビ会議システム」のご利用について

会議や打合せ、セミナー、相談会などにご利用ください。また、フリーWi-Fiが使用できるため、テレワークやウェブミーティング、ウェビナーの会場としても利用が可能です。

貸し会議室・ホール

【使用料】

室 名	定 員 (通常の場合)	面 積	料 金 (消費税込み)			
			単価/時間	9:00~12:00	13:00~17:00	9:00~17:00
アイピーホール	椅子72名 テーブル64名	165㎡	5,500円	15,840円	20,680円	35,200円
特別会議室	10名	24㎡	880円	2,530円	3,300円	5,610円
会議室 A	8名	20㎡	660円	1,903円	2,475円	4,180円
会議室 B	4名	14㎡	550円	1,584円	2,068円	3,520円

- いずれも平日のみの利用(時間外利用は3割増)。
- プロジェクター使用料は **1,650円/半日、3,300円/日**(消費税込み)。
- フリー Wi-Fiは利用状況によっては通信速度が遅くなることがございます。
- 館内は禁煙ですので、敷地内にある所定の喫煙所をご利用下さい。
- ご利用に関する詳細、お申込みはホームページからお願いします。

※研修室の利用をご希望の際は、(株)八戸インテリジェントプラザにお問合せください。



アイピーホール

会場とオンラインのハイブリッドセミナー開催の様子



会議室A

小規模な会議や面談向けなど



特別会議室

オンライン企業見学会開催の様子

テレビ会議システム WEB会議等にご利用ください

【使用料】1,650円/半日、3,300円/日(消費税込み)



モニター

LG製 75型 4Kチューナー内蔵 液晶テレビ
Bluetooth送受信/Apple Airplay/Miracast対応/Wi-Fi対応
HDMI2.0×2、USB×1、ヘッドホン出力端子×1、光デジタル音声出力端子×1、LAN 端子×1
液晶モニターでは部屋の明るさを保ったまま会議が行えます。

Webカメラ ミニ三脚セット

IO-DATA製 首振り機能と8倍光学ズーム機能を搭載したWebカメラ。
遠くの資料やホワイトボードの文字までもくっきりと映すことができたため、カメラや物を移動させる
ストレスもなく、快適なWeb会議が可能

会議用マイク スピーカー

エコーキャンセリング機能およびノイズキャンセリング機能の搭載により、快適な双方向会話を可
能にする会議用マイクスピーカー



ワイヤレスマイクスピーカーセット 【使用料】会議室利用時は無料

JYX製 Bluetooth5.0が搭載された充電式
ポータブルスピーカーとワイヤレスマイク
(2本)のセット

録音音声/AUX入力/TFカード/USB/
BT/マイクロUSBは携帯電話、iPad、テレ
ビ、PCなどの外部デバイスに対応

高度技術利用研究会

「令和7年度 第1回 総務・管理部門による意見交換会」開催

—人材確保・育成・評価／社員が納得し評価される改革とその成果について—



6月17日、高度技術利用研究会(会長:関秀廣八戸工業大学学教授)は八戸インテリジェントプラザにおいて総務・管理部門の方々を対象に、今年度第1回(計3回)の意見交換会を実施し12社・機関16名が参加しました。本会は会員企業の提案により昨年度からスタートした企画で、多種多様な業務を抱える総務・管理部門の担当者同士が現状や問題点を出し合い、意見交換等を通じてヒントを得たり、解決策を見出すことを狙いとしています。

はじめに事務局より、これまでの実施内容や参加企業からの要望等を踏まえ7年度の方針等を説明。人材確保や育成・評価、働きやすさ等に関する問題意識、および他社事例の要望が最も多かったことから、今回は「令和6年度社内人材育成支援事業(八戸市事業)」を活用した北辰工業(株)総務部の澤谷健^{たける}マネージャーによる成果報告を行いました。

澤谷氏は採用について、当初は1〜2名程度しか採用できていなかったが、まずはホームページをリニューアルし採用サイトを強化。若手社員の一日を紹介したり、Instagramを開設するなど露出を増やすよう改善したことで、中途を含め採用者の増加に繋がったと説明しました。育成・評価では「努力に対し評価に公平性がない、評価制度がない」「技能に関する講習はあるが、コミュニケーションやコンプライアンスに関するものがない」といった問題に対し階層別研修を導入。また等級・評価・報酬を連動させた人事制度改革に着手し、自己評価制度では社員によるチャレンジ項目を設けたり、評価項目を経営理念と社訓に結び付けながら会社が求める人材・社員が目指すべき人物像を明示することによって社員が腹落ちするよう工夫を施したとのこと。上司からのフィードバックでは、一方通行や、単に点数を伝えるのではなく、社員の立ち位置を認識させ、適切な行動に導くためのコミュニケーションを通じ、社員自身がステップアップするにはどうすればいいかを明確化したと説明しました。さらにはマネジメントコースとマイスターコースを設け、技術系でキャリアを歩みたい社員に対しても公平な評価とともに技術伝承につながる制度を構築。北辰工業の取組は現在進行形ですが、社員の意識変化とともに成果として表れてきているとのこと。

後半は積極的な質疑応答が交われ、参加各社はそれぞれの取組に照らしながら改善の糸口を探っていました。

人材確保や育成等をテーマとした企画については今後、外部の専門家や参考事例となる企業によるプレゼンテーションおよび意見交換等を行う一方、業務効率化やシステム導入等それ以外のテーマについても各企業の要望に応じて実施する予定です。



「お惣菜の店 リトルキッチンCOCONA」が 八戸インテリジェントプラザで出張ランチ営業を開始!

(株)八戸インテリジェントプラザでは、テナント事業者や北インター工業団地企業の皆様のランチ需要、および飲食店を開業したい方がトライアルでやってみたいという要望に応える目的で、館内にて日替わりレストラン営業&出張販売を実施しております。

5月から新たに「リトルキッチン COCONA」(和田ひとみ代表)の出張ランチ営業がスタートしました。

特徴はお好みの惣菜をカスタマイズして自分好みの定食を作るという「選べるランチ」。主食系として、ご飯モノや、パスタや焼きそば、タイ料理のパッタイなどの麺類に加え、人気の卵焼きや油淋鶏、肉巻き、さらには焼き肉や煮魚、ヒジキ煮、ナムル等の和え物、酢の物などラインナップも豊富(100〜400円)。日ごとにメニューが入れ替わり、山菜など旬の食材を使った料理も楽しませてくれます。

よく利用される近隣企業の方は、「家庭料理でありながら、主婦がなかなか作らないようなひと手間が加えられている。夕食用にテイクアウトもしている」と、この日完成まで2時間半をかけて丁寧に仕上げられたという「鶏の肉詰」を手にとっていました。また「お酒のお供にも最適!」「夕食の食材調達のためにスーパーマーケットに行く頻度が減った」という声も聞かれ好評のようです。

営業日は月水金曜日の11時〜13時30分。6月から冷やし麺が登場。水曜日は麺と丼物のセット(700円)も始めました。テイクアウトもできます。



八戸地域高度技術振興センター

令和7年度「研究開発資金助成事業」申請事業者募集のご案内

八戸地域高度技術産業都市地域(以下「地域」という。)にある企業等が行う高度技術研究開発事業に要する経費の一部を助成することによって、高度技術の開発の促進、並びに高度技術を利用する企業等の育成を図ることを目的とし、本事業への申請事業者を募集します。

対象事業者

八戸市、十和田市、三沢市、おいらせ町、六戸町、東北町、五戸町、階上町、南部町に事業所を有し、当該事業所内で活動する事業者(個人事業主も可)。

※複数企業による事業、産学連携事業も対象ですが、申請者は代表する企業1社となります。

助成内容

以下のいずれかに該当する研究開発

- (1) 高度技術の開発
- (2) 高度技術、または高度技術を有した機器やシステムを利用した
 - (2-1) 新製品、新商品の開発、
または製品、商品の高付加価値化のための研究開発
 - (2-2) 生産工程の合理化・省力化を図る研究開発
- (3) その他、当事業の趣旨に合致する場合で、理事長が特に認める事業

助成金額

上記に該当する経費の2分の1以内の額(上限は100万円)

(ただし理事長が特に認める場合は3分の2(上限は100万円)とする場合があります。上記該当経費の2分の1の額で申請いただきますが、審査結果によって3分の2の助成を認める場合があります)

対象経費

- ① 研究開発に要する原材料及び副資材購入費
- ② 機械装置又は工具器具の購入、試作、改良、据付又は修繕費
- ③ その他理事長が特に認める経費(①+②>③)

実施期間

1年以内

(研究開発の開始日は「技術開発審査委員会」開催日の翌日以降とし、年度を跨いでの実施も可)

申請方法

申請書類(研究開発助成金交付金申請書など)に必要な事項をご記入の上、事務局に提出してください。提出書類はPDF(カラー)に変換し、電子メールより送付してください。

募集期間

令和7年6月2日(月)～令和7年7月31日(木)必着

審査方法

8月26日(火)の「技術開発審査委員会」で審査し採択の可否を決定

八戸地域高度技術振興センター

令和7年度「技術人材研修助成事業」申請事業者募集のご案内

対象事業者

八戸市、十和田市、三沢市、おいらせ町、六戸町、東北町、五戸町、階上町、南部町に事業所を有し、当該事業所内で活動する事業者(個人事業主も可)。

助成内容

技術の高度化に寄与する以下の分野に該当する研修会や研究会に対し、研究者や技術者等を派遣する場合の受講料、交通費等を助成

- (1) 食品工業・農林畜産業・バイオテクノロジー
- (2) 機械工業・エンジニアリング・新素材
- (3) 流通・情報・ソフトウェア産業

助成金額

限度額：1人当たり 5万円

応募書類

- ① 技術人材研修助成金交付申請書
- ② 主催者が公式発表した案内文書の写し(研修会等の概要、受講料が明記されているもの)
- ③ 会社案内またはパンフレット、交通費を申請する場合は根拠となる運賃計算表等

申請方法

下記より技術人材研修助成金交付申請書をダウンロードし、必要事項を記入並びに関係書類を添付の上、事務局に送付(または持参)してください(申請期限は受講する研修等の1週間前まで)。

※本事業の詳細も下記に記載しております。また応募に関しては「技術人材研修助成金交付要項」をよくお読みください。

募集期間

随時受付(ただし予算に達し次第終了)

◆両事業とも、詳細および申請書類はこちらをご覧ください。

<https://www.hachinohe-ip.co.jp/index2.htm> (八戸地域高度技術振興センターホームページ)





「食用昆虫＝代替食料資源」だけではない価値の創出を目指す

北里大学獣医学部 動物資源科学科 栄養生理学研究室 准教授 落合 優

〒034-8628 十和田市東二十三番町35-1
TEL : 0176-23-4371 (代)

1. 代替食料・栄養資源としての昆虫

急増する世界人口と食料需要の増加は畜産食品や水産物の安定供給を困難にすることが予想されています。特に、食用タンパク質の需要は高く、持続可能な畜産・水産業をサポートするための代替食料資源の研究開発が国内外で発展し、その市場規模は拡大中です。食用昆虫も環境面や経済面に優れる代替資源として注目され、2013年には国際連合食糧農業機関による「食料・飼料への昆虫の利用推進に関する報告書」が公表され、2018年にはEU圏において、適切な条件で飼養された食用昆虫の取引自由化が「新規食に関する規制」で承認されるなど、将来的な食資源として期待されています*。

※日本国内では、昆虫は一般的な食品として認可されていません(2025年時点)

2. 昆虫に含まれる主要栄養素：タンパク質、脂質、食物繊維

当研究室では、食用昆虫に含まれる栄養成分(図1)、特にタンパク質、脂質、食物繊維の特徴に関する研究を実施しています。

“代替タンパク質源”と称されるだけあり、『昆虫食＝タンパク質源』と思いつく消費者は多いですが、消費者が食料タンパク質資源に求めるのは「量」だけでなく、その「質」です。我々は、国内流通する食用昆虫粉末(トノサマバッタ(以下、バッタ)、カイコ、コオロギ)を用いてタンパク質を構成するアミノ酸や生体内消化率を調べたところ、いずれも乳タンパク質と比較して低く、必ずしも良質なタンパク質資源とは言えません。バッタに関してはアミノ酸スコアが63(乳カゼインは100)、生体内消化率は70%(同97)に過ぎません。栄養×食料資源としての食用昆虫の価値を見出すには、他の栄養成分にも着目する必要があります。

一方で、食用昆虫の油脂には栄養学的な特徴があります。「量」の面では、昆虫粉末に油脂量が大豆や牛肉と同等に含まれるため、食用昆虫は優れた油脂資源です。「質」の面では多価不飽和脂肪酸が多く含まれ、特にバッタやカイコには抗炎症や脂質代謝を改善する可能性を秘めるオメガ3脂肪酸の一種であるαリノレン酸が高含有されます。この点は従来の動物由来の油脂とは「質」の面で著しく異なり、良質な魚油の代替油脂源としても期待されます。当研究室では、αリノレン酸が一般的な食用油の油脂構造の中性脂質型だけでなく、より栄養生理作用が期待されるリン脂質型として多様に存在することも明らかにしました。

また、食物繊維のキチンが高含有されることも他の動物資源にはない特徴です。キチンはエビやカニの外骨格に多く含まれますが、非食部位のため一般家庭では廃棄されます(産業的にはサプリメント開発に活用)。一方で、コオロギやバッタにも粉末当たり約10%ものキチンが含まれますが、廃棄部位が生じない形で利用可能なため、その栄養生理機能がより発揮されると考えています。

3. 栄養生理作用を有する動物資源としての昆虫

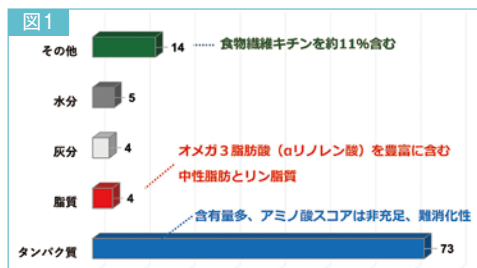
当研究室では、αリノレン酸やキチンなどを高含有するバッタの栄養生理作用を明らかにするため、バッタを10%含む飼料を実験動物に5週間給餌し、脂質代謝指標を測定しました。その結果、食餌油脂に由来するキロミクロン型や肝臓に由来する低比重リポタンパク質(いわゆるLDL)型の血中脂質濃度が低減化され、中でも酸化ストレスや脂質異常症の指標としても注目される小型LDL分子の血中脂質濃度が低くなることや、生体内のオメガ3脂肪酸の含有比が高くなることも示されました。消化管における脂質吸収の抑制や肝臓における脂質の処理および内因性合成の改善が主な要因です。

4. 代替食としての昆虫の未来と課題

主要栄養素に富み、脂質代謝を改善するなど食料としての将来性を秘める昆虫を活用するために解決すべき課題は多くあります。昆虫食への嫌悪感に対する対策、栄養成分が均一な食用昆虫の生産および加工方法の確立、将来的な昆虫食への栄養成分表記の規定などです。当研究室では昆虫からの機能性油脂の精製や生理機能の解明など油脂を有効活用する研究、脱脂タンパク質およびキチンを利用した機能性研究および食品開発をバッタやカイコを利用して行い、将来的に『昆虫食を通して持続可能な食料供給と健康増進に貢献する』ことを目標にしています(図2)。

研究室ウェブサイト▶

<https://www.kitasato-u.ac.jp/vmas/lab/nutritional-physiology-laboratory>



食用昆虫トノサマバッタ粉末の主要栄養素組成



当研究室が行う昆虫食科学研究のきっかけと取り組みの一例



研究室の4年生が組み立て・色付けした木製昆虫 (図3は本文に直接関係する箇所はありません)

創造企業風土スケッチ

No.102

株式会社ミライ化成 循環型CFRP開発部

青森発! サステナビリティを世界へ 「一気通貫炭素繊維リサイクルプロセス」による新価値創造の確立に向けて!



六戸町に新たな再生炭素繊維事業研究開発施設「青森Lab」を設立

化学工業薬品、食品原料、医薬品および高度管理医療機器の販売等を行う株式会社ミライ化成（長野県千曲市）は2025年4月、再生炭素繊維事業拡大のため研究開発施設「青森Lab」を六戸町の金矢工業団地に設立し「炭素繊維リサイクル事業」「再生炭素繊維の特長を活かした複合材料の開発」「バージン（未使用）炭素繊維を用いた複合材料の開発」を進めている。2021年に三沢市に「三沢Lab」を開設したが、事業拡大のため新たなLabを設立、6月から本格操業に入っている。炭素繊維は軽量・高強度・耐食性に優れた利点がある。その信頼性と性能から、樹脂（ここでは主にプラスチック）を混合した炭素繊維複合材（以下、CFRP）※は、航空・宇宙分野や自動車、半導体製造装置、さらにはスポーツ用品、建築資材など幅広い分野における先端材料として活用されている。一方製造工程で発生する端材や廃材、耐用年数を経過したCFRP製品も増加しており、多くは埋め立て（廃棄）となっているのが現状である。

■溶媒法による炭素繊維の回収



「青森Lab」の何が画期的なのか!?

CFRPの端材などから炭素繊維を取り出す方法として、「①熱分解法」と「②溶媒法」が一般的であるが、①は繊維が長い状態で取り出せる反面、樹脂が残存するなど品質面に影響する。②は樹脂の残存が少ない反面、繊維を長い状態で取り出しにくく強度面に影響するとともに回収コストが大きい。従来より再生炭素繊維事業を行っている企業では、コスト効率や品質面の問題等によりほとんどが①を選択している。また炭素繊維の回収および新品の炭素繊維の製造には多量の熱エネルギーを要するため多くの二酸化炭素を排出する。ミライ化成は①②の長所を両立できる独自手法を開発。②を基礎としつつ、比較的低エネルギーで炭素繊維を回収できる技術を確立した。（左図参照）

複合材機能のコントロール×一気通貫リサイクル法×プロセスのパッケージ化

ミライ化成では、CFRPの端材などを用いた素材開発に留まらず、成形加工に至るまで一気通貫したプロセスを構築し、再生炭素繊維の社会実装を目指している。炭素繊維と樹脂との密着性向上などにより、複合材にした際の強度はバージン炭素繊維と遜色がないレベルまで到達。また用途に応じ、樹脂の種類、薬剤や処理条件を選択し、比較的にマイルドな条件で再生を試行することで、導電性や電磁遮蔽性、耐衝撃性、反発性などさまざまな特性に応えることができ、これまで自動車や航空機部品、音響製品、IT機器筐体、アパレル、インテリア、建築材向け素材を試作してきた（ミライ化成では主に熱可塑性樹脂を使用）。

併せて世界初となるCFRPの切断に特化した三次元レーザー加工機を導入。炭素繊維と樹脂で構成されるCFRPは、熱伝導率と融点がそれぞれ大きく異なることから、単純なレーザービーム照射では加工が困難であった。高エネルギー・高出力パルス発振を活用することでこの問題を解決しつつ、炭素繊維の切断を精密に行いながら、樹脂の熔融を最小限に抑え、高速かつ高精度な加工、さらには作業時間の短縮や工程の簡略化を実現した。

これら一連のプロセスをパッケージ化し、回収した繊維をより製品に近い形状まで試作することで、CFRPを用いた製品開発や量産化を目指す企業に対し、各社の需要に応じ、必要な工程における技術や製造装置をセレクトして導入や内製化を支援（販売）するとともに、条件出しや成型方法の提案なども伴走型で行う体制が整った。また既存設備での射出成型・異形押出成型が可能な熱可塑性樹脂+バージン炭素繊維配合ペレット、一般的な裁断機、縫製マシンでの製品製造が可能な再生炭素繊維人工皮革など、扱いが比較的に容易な製品開発も行うなど、CFRPの高機能化と環境負荷の低減を両立させる新たな価値創造の基盤を確立した。

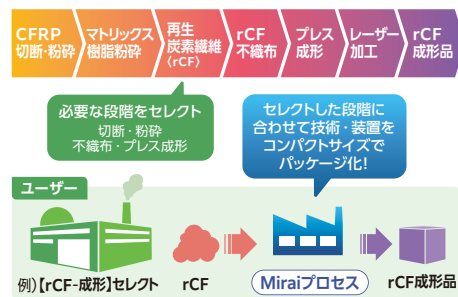
パートナー企業募集、および今後の展望を語る

ミライ化成はこれまで、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が公募する事業の採択、関係学会への参加および発表、展示会への出展等を重ねて評価を得てきた。現在は販売に結び付けられるための研究を進めており、2028年の製品化を予定。並行してさまざまな用途に向けた製品の量産化に向け、CFRP製品開発に関心を持つパートナー企業を募集。マーケットイン志向に基づき、自社のネットワークを活かしたマーケティング、並びにマッチング支援で市場開拓を進めるなど各種支援体制も整備しており、炭素繊維を使いたくても使えなかったユーザにも呼びかけている。

現在「青森Lab」を担うのは12名。うち9名が地元出身。円子春菜循環型CFRP開発・製造課長は、若い世代がものづくりや研究に夢を抱けるきっかけを構築し、青森から日本のものづくりを支える未来を共に築きながら現在進めていることが広く波及し、やがて日本から世界に向け展開させていきたいと決意を新たにしている。

※炭素繊維を強化材として使用し、母材（マトリックス樹脂）として①熱硬化性樹脂と②熱可塑性樹脂が使われる。①は一度成形すると加熱しても形状が変わらないのが特徴。高強度・高剛性で、用途は航空機や自動車部品、スポーツ用品など。②は加熱すると柔らかくなり、冷却すると再び硬化することで成形が容易でありリサイクル可能。環境負荷軽減にも資する。用途は自動車部品（バンパー、内装材など）、楽器、医療機器、ドローンなど。

■プロセスのパッケージ化



企業概要

代表取締役社長 山崎 登志夫
住所: 【本社】
〒387-0001 長野県千曲市雨宮2473
TEL:026-274-7667 FAX:026-274-7665
【青森Lab】
〒033-0073 青森県上北郡六戸町金矢1-1
TEL:0176-27-4115 FAX:0176-27-4116

設立: 1998年4月1日

資本金: 20,000,000円

従業員数: 60名(青森Labは12名)

備考: 三谷産業株式会社(本社:石川県金沢市/三谷忠照代表取締役社長)のグループ会社

URL: <https://www.miraikasei.com/index.html>

募集しています!

- ◆CFRP製品製造工程の端材・廃材等の処理に困っている企業様
- ◆再生炭素繊維を使用した製品開発に興味がある企業様
- ◆青森Labで働きたい方

スタッフ紹介

令和
7年度

(株)八戸インテリジェントプラザ [IP]

(公財)八戸地域高度技術振興センター [HC]



左から

- 滝沢 真一 IP 営業課長兼研究課主任研究員
インキュベーションマネージャー
- 宮下 直美 IP 総務企画課員
- 林崎 公彦 IP 副所長(総務企画課長兼研究課長)
- 三浦奈穂子 IP 総務企画課主任
- 松坂 洋司 IP 所長・HC事務局長兼専務理事
- 金田 明子 HC 事務局主事
- 関 マキ HC 事務局次長
- 吉田 友美 HC 事務局主事
- 中田純一郎 HC 事務局主幹
インキュベーションマネージャー



〒031-0081 青森県八戸市柏崎1丁目8-22 西町ビル1階・A
TEL:0178-51-9575 FAX:0178-51-9576

主な業務内容 食品工場内の洗浄清掃及び請負業務全般
レオパレス 21 管理業務全般・電解水生成装置・電解水販売



Aoi Mori Shinkin Bank

〒031-0086 青森県八戸市大字八日町18
TEL:0178-44-2121 FAX:0178-44-3379
<URL><https://www.aioimorishinkin.co.jp/>



ルッシー ハッシー

Hello!

Procea 青森みちのく銀行



© 青森みちのく銀行

お客様の想いをカタチに

赤間印刷工業株式会社

〒031-0072 青森県八戸市城下一丁目24-21
TEL 0178-43-7158/FAX 0178-43-8237

お申し込み
お問い合わせ

株式会社八戸インテリジェントプラザ
TEL 0178-21-2111 FAX 0178-21-2119
<https://www.hachinohe-ip.co.jp/>

公益財団法人八戸地域高度技術振興センター
TEL 0178-21-2131 FAX 0178-21-2119
<https://www.hachinohe-ip.co.jp/index2.htm>

HC・八戸IP News&Topics [TECHNOLOGY AKROS] 129号 発行/2025年6月30日

■編集・発行者/株式会社八戸インテリジェントプラザ Tel: 0178-21-2111 Fax: 0178-21-2119 E-mail: info@hachinohe-ip.co.jp
公益財団法人八戸地域高度技術振興センター Tel: 0178-21-2131 Fax: 0178-21-2119 E-mail: hc21@hachinohe-ip.co.jp
〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地一丁目4番43号

■制作/新光印刷株式会社

<https://www.hachinohe-ip.co.jp/>

